

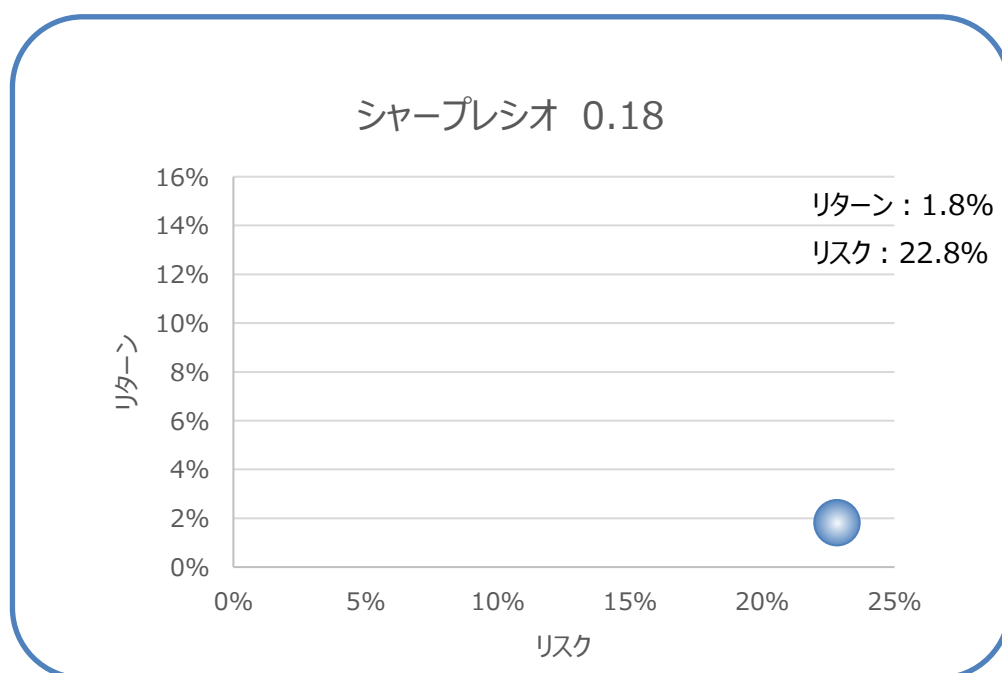
## お客様本位の業務運営における主な取組結果 (2022年度：2022年1月から2022年12月まで)

### 1. お客様の最善の利益の追求

当社は、その経営理念に基づき、お客様とのコミュニケーションを何よりも重視し、お客様の現況、資金の性格、運用ニーズ等を徹底的に理解するよう務め、お客様との間で築かれた信頼関係の上で、適切な投資助言または運用戦略を提案してまいります。

#### 自主的 KPI（管理指標）

そのような運用のご提案の結果として、当社が現在投資一任契約で運用している投資戦略の現地通貨建て一任契約運用時価総額加重平均化したシャープレシオ\*（および同加重平均化したリターン\*およびリスク\*）は、以下の通りです



\*シャープレシオ、リターン、および、リスクは、全て投資一任契約で採用している運用戦略あるいは同一と見做せる類似戦略の現地通貨建てパフォーマンスから一任報酬等控除されるものと同等のコストを控除したフィー控除後5年トータルリターンから算出しています。

### 2. 利益相反の適切な管理

メツラー・グループは、非上場かつ創業以来一貫した独立経営であるため、他社と資本提携等の特別な関係を築いてお客様の利益に反する業務運営を行うことは一切ありま

せん。そのような中においても、お客様から一任された資金の運用に関する利益相反を厳格に把握・管理するために「弊害防止措置及び利益相反取引の管理規則」を定め、適切な業務運営体制を確保しています。

自主的 KPI（管理指標）

当年度においては、新規の投資一任契約、解約、および、契約変更がなかったこともあり、利益相反に該当する恐れのあると認められる取引はございませんでした。

利益相反に該当する恐れのあると認められる取引 0 件

### 3. お客様へのわかりやすい情報・サービスの提供

当社では、お客様へ適切な情報・サービスの提供を可能にするプロフェッショナル集団であり続けるため、メツラー・グループと協同し社員全員がグローバルな金融・証券市場での経験を深め、また知識の習得に努めます。また、お客様とのコミュニケーションを何よりも重視し、適時適切に情報・サービスの提供を行ってまいります。

自主的 KPI（管理指標）

当年度においては、お客様からのご要望に対しての以下のような情報提供、および、社員向けに金融・証券市場知識向上のための取り組みが行われました。

情報発信レポート件数 59 件

同レポート発信先数 429 件

金融知識向上のために行われた社員向け研修会回数 41 回

当年度においては、上記の情報発信以外に、ESG（サステナブル）投資をテーマに機関投資家向けセミナーを 2 回開催しました。欧州における開示規制についての解説や統計的手法を用いた効果の検証など、わかりやすい説明を心掛けました。

### 4. 運用報酬等の明確化

当社は、投資助言、運用戦略毎にお客様へ合理性のある適正な水準の運用報酬等を提示します。運用報酬等の内訳に関しても、お客様にご理解いただけるよう、可能な限り透明性を確保し分かりやすい説明を行うべく取り組んでいます。更に、お客様から一任さ

れた資金のより高い運用効率に資するべく、運用報酬料率等の低減を目指し不断の経営努力に取り組んでまいります。

上記透明性の更なる向上を目的に、2021年12月から行ってまいりました取扱い戦略の運用報酬料率体系の見直し作業は、2022年4月に全ての取扱い戦略について運用報酬料率の見直しが終了しました。

## 5. お客様本位の業務運営に資するガバナンス

当社は、顧客本位の業務運営を推進するべく、取締役会や経営委員会等での活発な議論のほか、定期的開催されるコンプライアンス研修や日常における社内での活発なコミュニケーションを通じ、経営陣を含めた全社員が共通の意識を持って業務に取り組む体制を構築しています。また、円滑なコミュニケーションや、日常の行動におけるベストプラクティススペースでの行動基準については、全社員共通の業務目標に掲げ、それらの業務目標については適切に評価の上処遇に反映させてまいります。

当年度においては、当社が行っている、重要な情報の分かりやすい提供、および、顧客にふさわしいサービスの提供を可視化するために、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨を行っていない点、直接の金融商品組成を行っていない点を、当社のお客様本位の業務運営に関する方針に明示することを検討いたしました。

また、当社ではお客様本位の業務運営を推進するために、社員のコンプライアンス意識の向上を図る定期的な研修会を行っておりますが、当年度においても3回行われました。研修会では、今後の金融行政の方向や最近の行政処分の事例の紹介、外部専門家による現在の規制環境の動向と外資系投資一任業者に対する期待について、ローカルガバナンスと経営陣の責任などのレクチャーを行い、社員の理解を深めました。

以上